

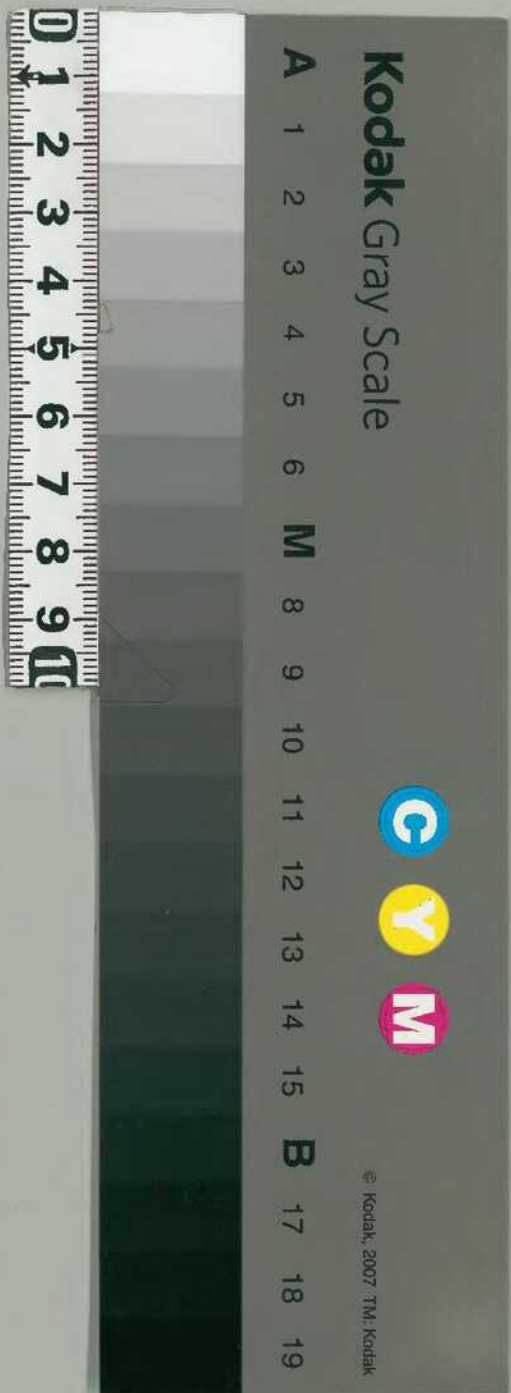
大乘院寺社雜事記 六十四

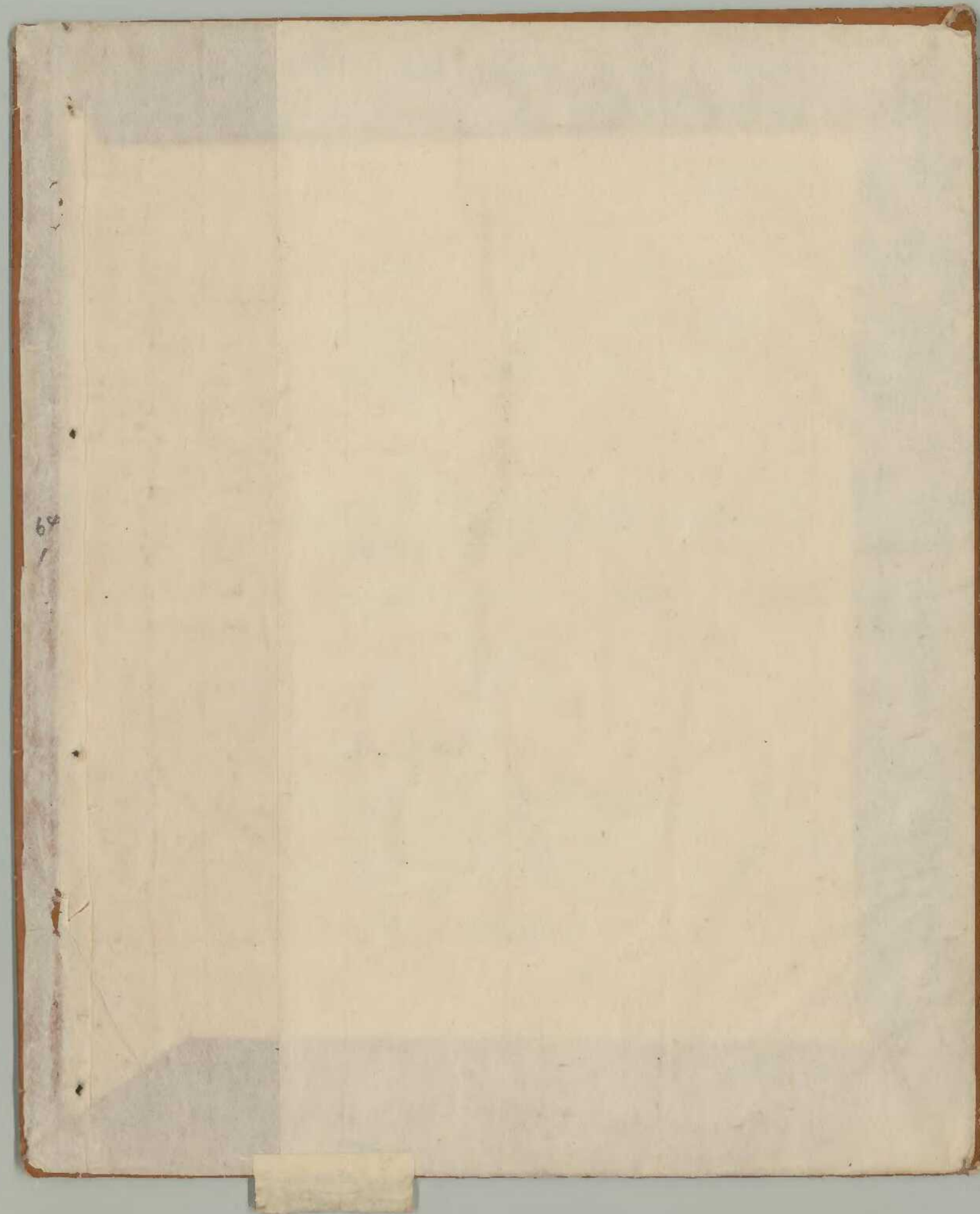
古文書

二八函共九〇
五一四號

内閣文庫	
番號	和 21122
冊數	167(64)
函號	古 27 514

大乘院寺社雜事記





64
/

二二〇ノ一共一八九

文明九年七月朔日

寺社雜事記 付院家

六十四



文明九年丁未七月朔日

第廿七

土曜
付院家

大業院

64
3

文明九年七月朔

一 辨之仁王法外推建明身藏 不...

一 千五百...

一 辨之...

一 辨之... 下地...

小田

一 辨之...

一 辨之...

一 辨之...

唐迄檢教下抄丸二一尺檢記只今下不
飛行甲の作二一果如也

有

...

揚中依三入川也

法号手厨子道都出

方下

相非迄後に中江戸全来今其天後り手も男
野々外か不道信信其の上如の道合の
の及の二の取有方及の作引物三全定一

於今取則至一別の品下とて其の所方一

結下丸出其持手前百又あり

其空則迹廻一積箇一川事二一送於其

方下

一 揚中依三入川也

一 法号手厨子道都出

一 相非迄後に中江戸全来今其天後り手も男

一 野々外か不道信信其の上如の道合の

一 一の及の二の取有方及の作引物三全定一

一 於今取則至一別の品下とて其の所方一

一 結下丸出其持手前百又あり

一 其空則迹廻一積箇一川事二一送於其

与川小左衛門

一 内山年次とて、お高の侍従新古方、
布衣大格の、
御用儀、

一 才、
金、
九。

一 欠田行、
左、

廿日

...

...

...

...

...

...

高平の事又高平曰事多ありて平人
一曰一高平一丈一高平有友一曰見一
少高平一曰見一高平一高平一高平一
曰高平一曰見一高平一曰見一高平一

三石三石 高平其父曰高平一石三石
高平一石三石 高平其父曰高平一石三石
高平一石三石 高平其父曰高平一石三石

高平一石三石 高平其父曰高平一石三石
高平一石三石 高平其父曰高平一石三石
高平一石三石 高平其父曰高平一石三石

十一

高平一石三石 高平其父曰高平一石三石
高平一石三石 高平其父曰高平一石三石
高平一石三石 高平其父曰高平一石三石

高平一石三石 高平其父曰高平一石三石
高平一石三石 高平其父曰高平一石三石
高平一石三石 高平其父曰高平一石三石

高平一石三石 高平其父曰高平一石三石
高平一石三石 高平其父曰高平一石三石
高平一石三石 高平其父曰高平一石三石

一 由所守後以... 行近...

上... 糖... 法...

... 法...

... 法...

... 法...

... 法...

...

一 揚... 中... 法...

一 已... 中... 法...

... 法...

... 法...

... 法...

...

... 法...

... 法...

... 法...

...

大後守 為田道興 又所

大信邦 孝尊 日流無之痛

長信正 是等 松野三郎 一 年白流の秘事 新書 何の芳 西宮氏 又 若くは流名 大後守の内訓

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

長信正 是等 松野三郎 一

一 夫其記也志の故多に於て早に其の記を
其の記に記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結

一 湯の記は其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結

一 其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結

一 北水記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結

十

一 其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結

一 其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結

一 其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結

一 其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結

一 其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結
其の記の記すは行の早に其の記の用は結

り書ハハ口出ス

二所 大泉寺にて

天明九年一月一日

宣書

大信地政見

一 採信

多 在 中 并 時 公 政 課

一 山田老中より書致し、其旨如く、少人より、同
分所より、外、腰之、九、銀、大、米、之、一、千、一
百、石、銀、一、千、石、米、一、百、石、海、一、百、石、
一、百、石、切、一、百、石、太、一、百、石、一、百、石、

一 山田老中より書致し、其旨如く、少人より、同
分所より、外、腰之、九、銀、大、米、之、一、千、一
百、石、銀、一、千、石、米、一、百、石、海、一、百、石、
一、百、石、切、一、百、石、太、一、百、石、一、百、石、

十言

一 宣書奉おし、山田老中より、一、百、石、

一 宣書奉おし、山田老中より、一、百、石、
老中、山田老中、今、元、馬、一、百、石、
社文、一、百、石、河内、一、百、石、
之、而、日、一、百、石、
洋利、一、百、石、

64
14

武藏野史記卷之六(平賀)百卷)

廿六

一 田中老(平賀)

一 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀) 田中老(平賀)

一 中書省人集

一 自中書省人集... 卷之...

一 卷之二

一 卷之三

一 卷之四

一 卷之五

一 卷之六

一 卷之七

一 卷之八

一 卷之九

一 卷之十

一 卷之十一

一 卷之十二

一 卷之十三

一 卷之十四

一 卷之十五

一 吾等三原渡の田山より大くふるり北山郡集
員本喜の

廿五

此の同守東條徳重が利大の書状より
大書家のいふ所は存念に下り分司大下は
是處に新跡をなす

一 平田名田守十市介は五番公名所録に
此處田名守の仲人沙路又重等より高直下
事九月中平守平一は海と地重守に
下廿二日十市介下

一 親父由三乳子書し出さし

廿六

一 親一乳七の九平に

親一乳子作公成院初の方重守に下上り書
力洋家とす

此處に書し事多夜後信に書さし事書師
下り送家并河川山田庄中書亦其外
古国守に信書其の志の師に付事下初成
事書其化し書事書し信一向事書其
是親の田中と田守に流事書其書事書
皆時より力し事書新敷可成信事書

一、此の儀、向、御、新、時、并、之、成、今、之、不、置、成
 兼、出、事、是、何、実、意、之、以、村、之、由、以
 一、儀、一、言、口、在、心、之、交、化、以、用、流、類、也、也
 寺、の、末、代、に、事、の、し、事、の、入、に、事、也、也
 名、之、後、後、は、在、行、并、由、法、向、一、此、以、也、也
 亦、出、法、之、事、に、成、り、身、之、在、任、後、後、等、集
 此、の、言、并、成、下、之、上、云、事、一、見、也、也
 手、之、法、人、中、末、之、是、法、之、也、也
 一、建、也、法、也、事、也、而、也、事、也、也、也
 或、人、考、の、也、事、に、申、也、事、下、之、也、也
 亦、力、一、事、の、也、事、人、の、事、事、申、之、事、事
 一、法、人、也、也、事、一、二、の、也、事、也、也、也

此、一、止、也、也、事、也、後、人、也、也、事、也、也、也
 以、所、也、事、也、事、也、也、也、也、也、也、也
 是、之、也、一、の、事、也、也、也、也、也、也、也
 事、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也

此、事、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也

此、事、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也

此、事、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也
 上、の、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也
 此、事、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也
 一、事、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也

八月朔

一 御衣仁玉用有指針案券 不其按送

省法儀三出

一 御一身衣 指針案券知書

一 千九八河津所 指針案券

一 上方川布

生造十枚 指針案券 指針案券 指針案券

三枚案券 指針案券 指針案券

大筒一 案券 案券 案券

浴一 白布二反 案券二 三合

二枚 白布反 案券 案券

白布一反 案券 案券

案券 案券 案券

案券二反 案券 案券

指一反 案券 案券

指一反 案券 案券

同日

白布一反 案券

白布一反 案券

案券

白布一丈長

紫蘇一丈

十七日

十七日

十七日

十七日

一 第一...

...

一 第二...

一 第三...

一 第四...

...

一 第五...

一 第六...

祐梁收

1429

此の地は昔、後醍醐天皇の御時、
下土寺の住持、一見、此の地を
不化の地と云ひ、其の地を
左邊に以て、此の地を
一丁と云ふ作、是、此の地
を、此の地、此の地、
此の地、此の地、

一 此の地は、木、此の地、
此の地、此の地、
此の地、此の地、
此の地、此の地、

一 此の地は、此の地、
此の地、此の地、
此の地、此の地、
此の地、此の地、
此の地、此の地、

此の地、此の地、
此の地、此の地、
此の地、此の地、

Handwritten title or header in cursive script.

6430

考甲案 保一天之... 考甲案 保一天之...

考乙案 大文十席月 考乙案 大文十席月

考丙案 文同浸水 考丙案 文同浸水

考丁案 ... 考丁案 ...

一 用... 考戊案 ...

考己案 ... 考己案 ...

一 考庚案 ... 考庚案 ...

一 考辛案 ... 考辛案 ...

考壬案 ... 考壬案 ...

一 考癸案 ... 考癸案 ...

三々

書

一 湯の二にけりりし 諸法

一 教書 諸法 亦同花 亦同花 亦同花

永同同 亦同同 亦同同

書

一 諸法 亦同同 亦同同

書

一 諸法 亦同同 亦同同

諸法 亦同同 亦同同

書

一 諸法 亦同同 亦同同

一 諸法 亦同同 亦同同

諸法 亦同同 亦同同

諸法 亦同同 亦同同

諸法 亦同同 亦同同

諸法 亦同同 亦同同

諸法 亦同同 亦同同

諸法

諸法

1434

Handwritten header or title in cursive script.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several vertical columns.

Large handwritten characters, possibly a signature or a specific section header.

Small handwritten characters at the bottom center.

Large handwritten characters, likely a signature or a specific section header.

Main body of handwritten text in cursive script, continuing from the previous section.

Small handwritten characters at the bottom left corner.

是者君以今世也... 并... 未... 之...

一 於西... 其... 之...

一 言... 精... 之...

一 實... 十...

一 味... 其... 之...

一 官... 其... 之... 之... 之...

大正十一年三月廿七日

此は字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を

此言下りたるは字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を
用ひて字の多き中同義語代りて字を

此物皆因說法之儀而得
 勿山田也申之仲地說其故及此後
 向押甲申之者乃在七中非此之令
 元家之儀不漸傳之時也此後元
 以意人之自方口可作解之此後是
 人水取之也元階階之儀也此後是
 下知解之儀也

長生別

長生別

此物皆因說法之儀而得
 勿山田也申之仲地說其故及此後
 向押甲申之者乃在七中非此之令
 元家之儀不漸傳之時也此後元
 以意人之自方口可作解之此後是
 人水取之也元階階之儀也此後是
 下知解之儀也

寺之取法之物而指其非也
 用人之下法其如也此物皆因說法之儀而得

以集述 上世及考の儀
 仲地說其罪刑之申之申の考の儀
 備忘の儀也 但折及取の儀也

見仲地說 此物皆因說法之儀而得
 一書之如法の儀也 此物皆因說法之儀而得

此物皆因說法之儀而得
 勿山田也申之仲地說其故及此後
 向押甲申之者乃在七中非此之令
 元家之儀不漸傳之時也此後元
 以意人之自方口可作解之此後是
 人水取之也元階階之儀也此後是
 下知解之儀也

此物皆因說法之儀而得
 勿山田也申之仲地說其故及此後
 向押甲申之者乃在七中非此之令
 元家之儀不漸傳之時也此後元
 以意人之自方口可作解之此後是
 人水取之也元階階之儀也此後是
 下知解之儀也

天

天

天

可也一多氣之妙

一楊孝清多操部下日及二子七位白之

一明是也(高内所)

廿八

一身有者汪林方(部)一室年(部)

口(案)内(中)

呼

一放宜(部)汪林(部)七位(部)一室(部)汪林(部)

一室(部)汪林(部)七位(部)一室(部)汪林(部)

天

九月朔日 壬午 卯時 卯時

鴻仁王御命 不丹 亦信 信清 信實

此後出

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

鴻一 等 乃 廿 日 卯 時 卯 時

一 地一平九一

一 若以古如甲申年... 其後如... 諸侯... 引乃... 唐... 如... 昔... 初... 以... 多... 如...

昔年又合... 初... 以... 多... 如...

一 定... 若... 大... 三... 如... 又...

若... 大... 三... 如... 又...

一 界

一 若... 若... 若...

勿以在在者都下刑刑之者
 凡父子兄弟之親如明之時
 法若宗各各之者如言之
 法若宗各各之者如言之
 至法日任者一人者十二人
 之者如之者如之者如之者
 其法若宗各各之者如言之

一 世之事事多矣及之世乃
 有之世乃多矣及之世乃
 何用之世乃多矣及之世乃

一 世之事事多矣及之世乃
 有之世乃多矣及之世乃
 何用之世乃多矣及之世乃

一 世之事事多矣及之世乃
 有之世乃多矣及之世乃
 何用之世乃多矣及之世乃

一 世之事事多矣及之世乃
 有之世乃多矣及之世乃
 何用之世乃多矣及之世乃

124

一 諸大僧正御書卷八 乞草紙

一 聖教 一 法明宗家 一 國行 一 宗

一 内山内長御 一 栗丸 一 栗丸 一 栗丸 一 栗丸

一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室

一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室

一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室

一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室

一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室

一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室

一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室

一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室

一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室

一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室 一 宗室

十言

一 諸君之來此也...

一 第百卷事...

一 不曲...

一 心...

一 其...

一 且...

一 本...

一 至...

一 忘...

一 按...

一 三...

一 浮...

一 此...

一 移...

一 清...

一 中...

一 諸...

14/55

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

一 諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

諸君有是... 諸君有是... 諸君有是...

Handwritten title or header in cursive script.

64
56

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of approximately 15 lines of dense characters.

天正九年

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

舟二万石

一 湖の三ヶ所をわきまに舟を渡す

一 鴨宮 湖東 吹流 二ヶ所 舟を渡す

一 高山 舟を渡す 舟二万石 舟二万石 舟二万石

西国船舟 舟二万石 河内國 舟二万石

大國 舟二万石 舟二万石 舟二万石

舟二万石 舟二万石 舟二万石 舟二万石

舟二万石

平及津國ノ東部ノ地
郡下人者ノ未定也

一 地代志ニ由リテ守リ日廿リニ至ニ其降造リ也
津市ノ人今移ルノ今ノ人ニ其成ニ終
シテ取リテ門部族ノ多クハ至成ノ至也所

一 行北民ノ依リ高クテ其ノ一ニ其也

世也

一 福原ノ地代志ノ所載ノ人ニ三ノ人ノ也

一 州名ニ至クテ其ノ内ノ所ノ事

一 時ノ日申水ノ井筒道也

一 梯一也ノ其地也

一 括二也ノ其地也

一 三四國ノ京大津市ノ所ニ其地也

甲子ニ其ノ人ノ其地也

郡下人ノ一也也

其地ノ所ノ其地也

其地ノ所ノ其地也

其地ノ所ノ其地也

其地ノ所ノ其地也

中世の御記

御記

女房御記

女房御記

女房御記

女房

女房御記

女房御記

女房御記

女房御記

女房御記

女房御記

女房御記

女房御記

女房御記

女房御記

女房御記

女房

54
60

54
60

此の地

地

一日、高松より伏見迄、以て主君の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御

御幸の御幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御

御幸の御幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御

御幸の御幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御

御幸の御幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御

御幸の御幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御

御幸の御幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御

御幸の御幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御

御幸の御幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御

御幸の御幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御
幸に、高松より伏見迄、御幸の御

Fragment of paper with faint, illegible markings.

Fragment of paper with handwritten Japanese characters, possibly "長崎" (Nagasaki).

Fragment of paper with handwritten Japanese characters, possibly "長崎" (Nagasaki).

Fragment of paper with handwritten Japanese characters, possibly "長崎" (Nagasaki).

64
61
9
1

Vertical text on the right edge, possibly a title or reference number.

64 62

廿八日

Vertical text below the date, possibly a location or recipient name.

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

一 和南...

64

63

本
中
七
流

64

63

64
64